



寝

取

られ

物語

ADULT ONLY



はあっ

あ、よかった  
繋がった

サポート先の  
クエストはどう  
なったかなって  
思ってたさ

はあっ



は、はい！  
なんででしょう  
マスター？



……こえる？  
紫式部さん！

……ん？

……ん？



それじゃクエスト  
中にごめんね

フレンドさんにも  
よろしく言っといて

え、ええ……ッ  
了解致しました



ッ♥……そ、それがッ  
ですね……予定より  
時間がかかりそうでッ

そうなんだ……

ッ♥……申し訳  
ありません……



なんで紫式部さんが  
謝るの？仕方ないよ

そ、そうですねッ  
ふふふ……ッ♥

お疲れ様です  
マスター

私はこのカルデアに  
唯一召喚された  
サーヴァント紫式部

今日もごめんね……  
うまく指示できなくて

そんな……っ

マスターは危篤状態の  
他のマスターと違い力量が  
無いと日々嘆いています

お気になさらず……

それでも諦めず  
人類の為にと身を  
粉にするマスターが

何故私だけしか  
呼ばれないのか

私は大好きです

初めからうまく  
できる人など  
いないのですから

ただ……

紫式部さん……

でもいつまでも  
このままじゃ  
人理修復なんて……

マスター……

せんぱーい！

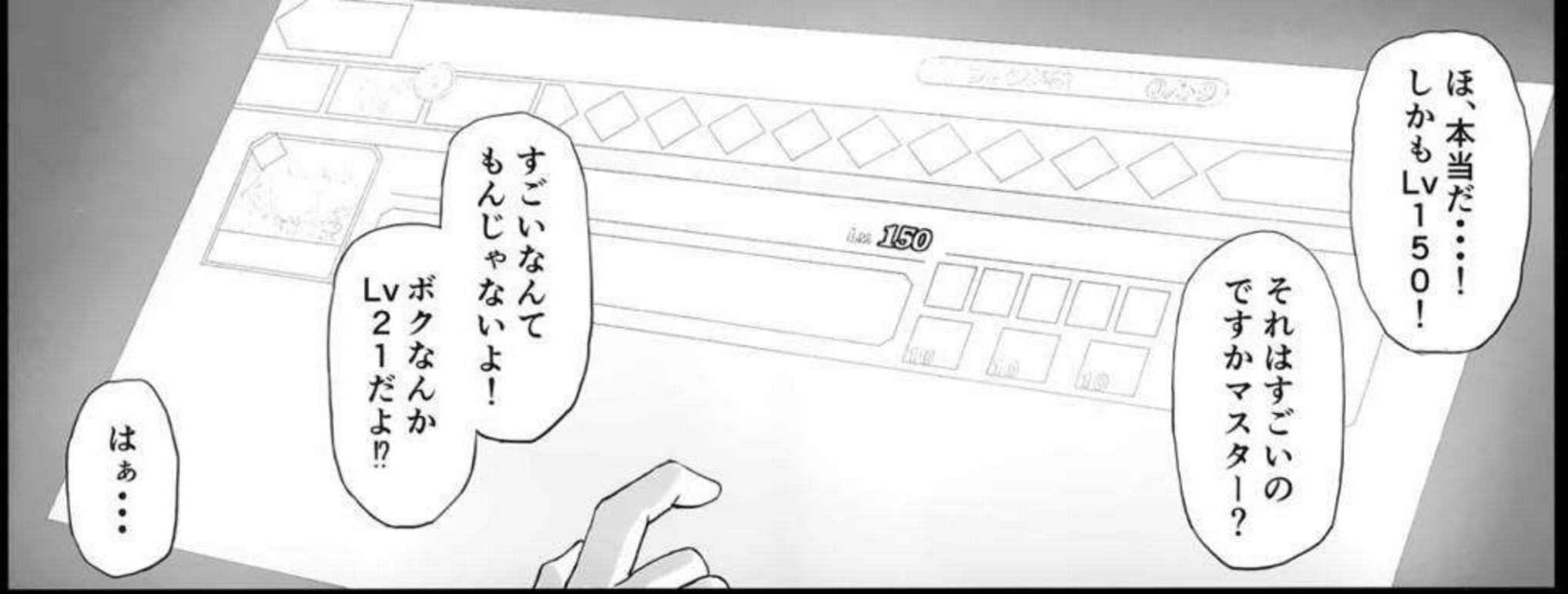
マシユ？

フレンド申請が！

フレンド申請が  
届いてるんです！

それがずっと  
気になって  
いました……

えっ？





でもフレンドの方  
はとともお強い  
のでしたよね?

うん...なんで  
だろう...?  
間違えたのかな



え...

私にですか...?

Lv43



確かに...

私とマッシュ様だけではいつか  
取り返しのつかない事にな  
っていったかもしれない



でも先輩!

これは日頃のお礼を  
言うチャンスです!

あ...!  
そっか!



わかりました

お任せ  
ください



紫式部さん



僕らを代表して  
お礼を言ってきて  
もらえるかな



い、いえ……ッ！  
失礼な事を考  
てはいけません

香子ちゃん……

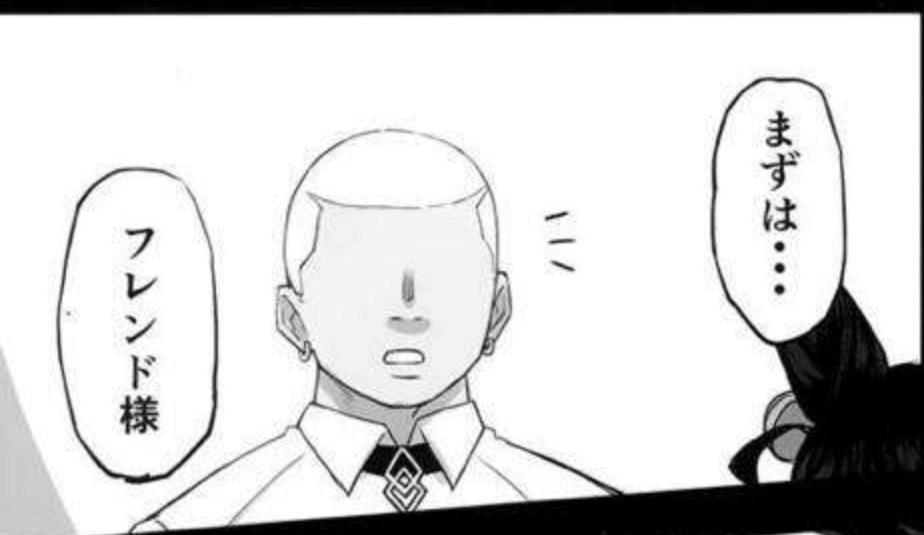
なんだか想像  
していたより……



っーわけで  
俺が君のマスター  
のフレンドです

こ、この方が  
フレンド様……？

よろしく  
香子ちゃん



まずは……

フレンド様



お互い助け合っ  
ていかなきゃじゃ  
ん？

ね？

！……  
自分が恥ずかしい……



マスターに代わり  
拝謝申し上げます

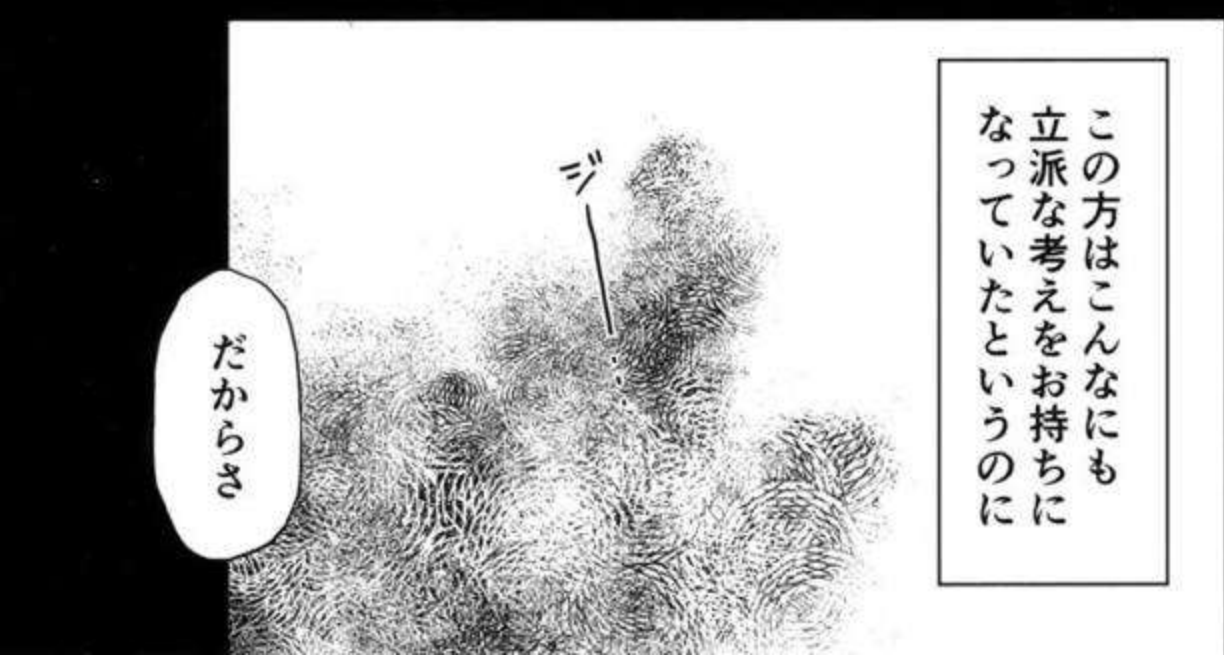
えっ？！

あなた様のサポ  
ートのお陰で幾  
度も命を救われ  
ました



いやいやいや！  
そんな仰々しく  
しないでよ！

俺にだって  
そういう時期  
あったからさ



この方はこんなにも  
立派な考えをお持  
ちになっただけ  
というのに

だからさ



なっとなんな  
何をッ……?

いやさつき  
言ったじゃん(笑)  
助け合いだつて



早速で悪いんだけど  
相手してもらえる?

ひゃっ!!



な、なんて大きさ……  
マスターの倍は……

初心者マスター  
のサーヴァント  
には身体で返して  
もらってんだ



なっ……

あ、もちろん  
嫌なら帰って  
いいよ

こっちは新しい  
初心者マスター  
探すだけだから

えっ



私さえ……  
我慢すれば……

た……

ん、何?



そんな……  
ここで私が断ったら  
カルデアが……  
マスターが……

フレンド君  
かわいそ

ま、でも  
仕方ないよね  
香子ちゃんお疲れ  
別の子呼ぶから  
帰っていいよ



やっぱりギブアンド  
テイクが基本  
だからさあ

そっちのカルデア  
俺以外にフレンド  
誰がいるの?  
っていねーか(笑)



わかりました……



あゝそうそう♥  
口すぼめて下品な  
バキューム音出してな

なんて大きさ...

先っちょ舌で  
転がして...

おゝ  
うまいじゃん♥



耳を傾けちゃダメ

早く終わらせて  
マスターの元へ  
戻らないと...



あーマジで  
気持ちいい♥

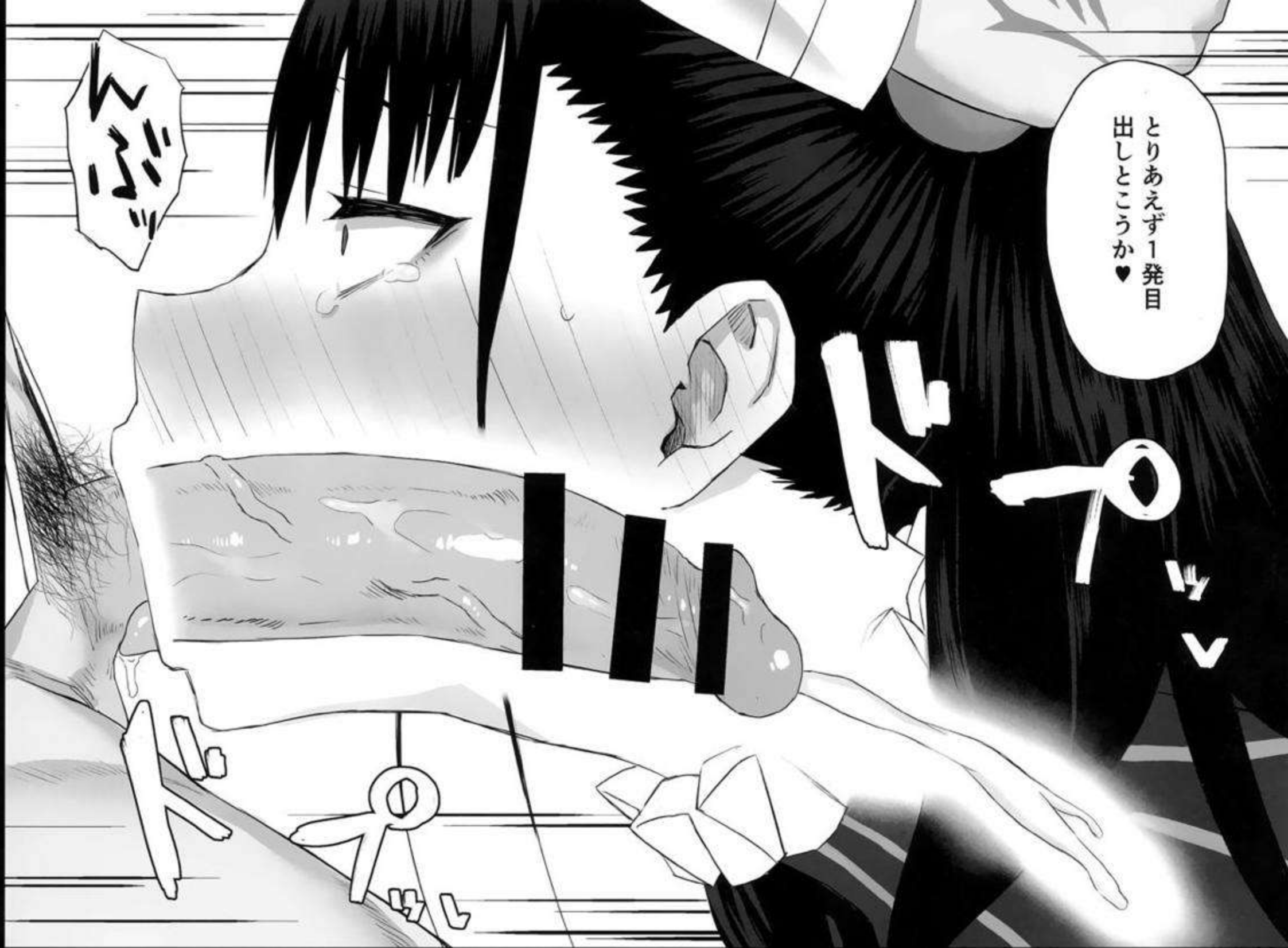
こんなんじゃ  
すぐ出ちまうよ♥



なんだよゝ  
香子ちゃん結構  
ノリノリだねゝ

俺のちんぽ気に  
入っちゃった?





とりあえず1発目  
出しとこうか♥



ありや  
きつかった?  
ごめんごめん

香子ちゃん  
にはまだハード  
だったか(笑)



あー出る出る...  
全部飲んでね♥  
香子ちゃん♥



それじゃ次は  
俺が気持ちよく  
してあげるよ♥

ツ...



どう？俺  
うまいっしょ♡

何故・・・ッ♡  
こんなにあっさり

はっい  
3回目♡



色んなサーヴァントに  
仕込まれたからね♡



それじゃ今度は  
こっちで可愛がって  
あげるね♡

え、えっ

ヤッダメです  
今いった

おっ  
ガクガク  
キョロキョロ

ガクガク  
キョロキョロ

おッ♥  
んお……ッ



入れただけで  
イッチャったねえ♥

な、なに……これっ  
子宮……潰されてる？



その様子じゃ  
ポルチオ責め  
られんの初めて？

ッ……？  
なんで……!?

このサイズ味わった  
こと無い子は最初  
驚くんだよね〜



んお……ッ

香子ちゃんの  
マスターじゃ  
ここ届かないっしょ？

何を……  
言ってるッ



そんなの……ッ  
愛があれば  
関係ありません！

ぶはッやつぱ  
届かねえんだ(笑)

ッ……



短小相手だと一生  
この快感味わえ  
ないからな〜♥



まあ任せてよ♥  
俺のちんぽ忘れ  
られない体に  
してしてやるから

きゃっ

声我慢して  
マスターへの  
義理立て？  
かわいいなあ♥

どうして…  
的確に私の  
弱いところをツ

ふーん…  
なら…  
恋人みたいに  
振る舞って  
くれないと

んっ  
早く…ツ  
済ませてください

んんッ!



んんッ!

ごめんなさい…  
マスター…

嫌…そんな…  
マスター以外と  
口づけをして…

こんな…最低な  
男に…いい様に  
されてるのに…

グチュ  
グチュ



カルデアの為に  
やってんだから

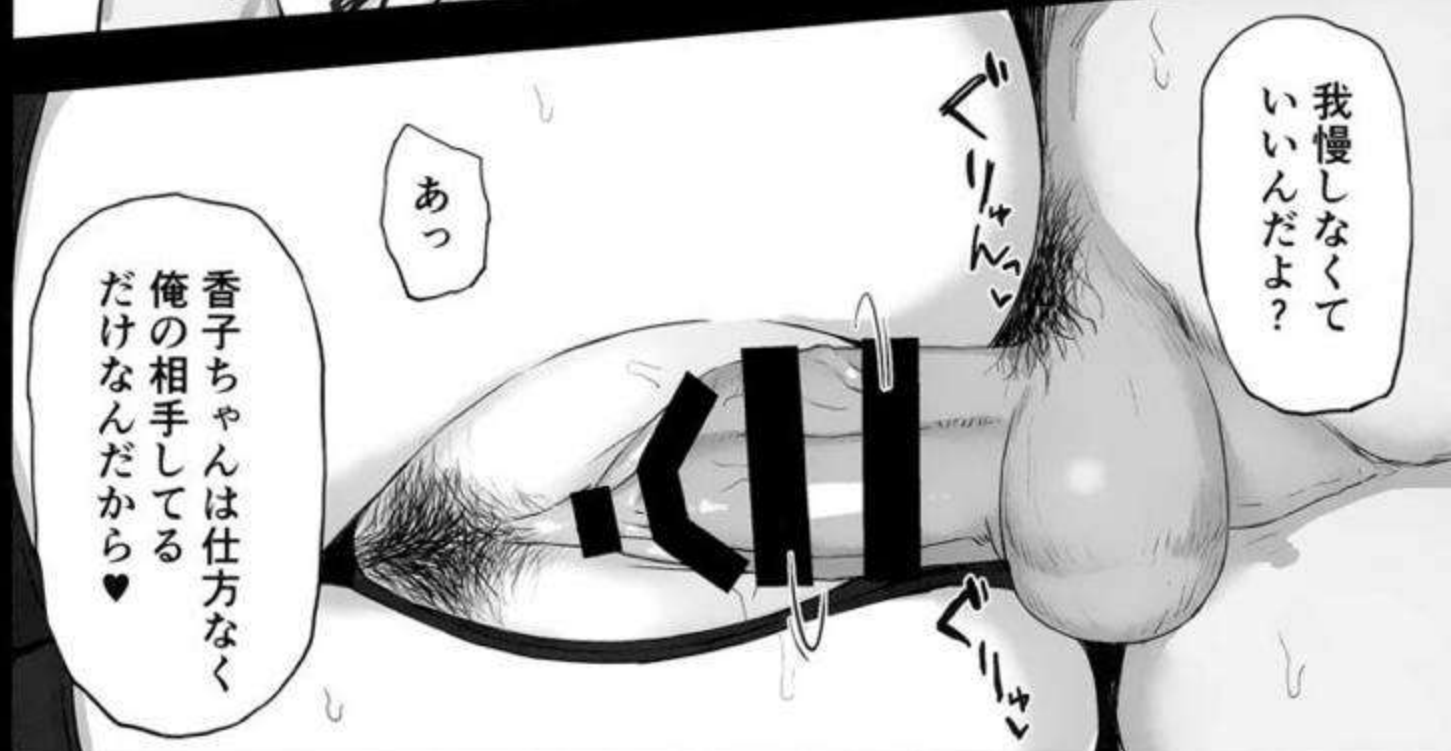
マスター  
だって許して  
くれるっしょ♡



んあッ♡

お、声出て  
きたじゃん♡

ふッ...



我慢しなくて  
いいんだよ?

あッ

香子ちゃんは仕方なく  
俺の相手してる  
だけなんだから♡



そう...私は...  
カルデアの為に...  
マスターの為に...

それに俺も最後  
まで嫌々ってのは  
ちよっとなーって

だからさ



自分から  
おねだりして  
欲しいなあ♡

マスター...



フレンドちゃんほ  
ください♡って

先輩  
紫式部さんは  
何と・・・？

まだかかる  
みたい

そうですね・・・  
時間が時間ですし  
先輩はお休みに  
なられた方が・・・

そうだね・・・  
フレンドさんの話  
聞きたかったなあ

ふふっ・・・  
起きてからの  
お楽しみですね

休憩したら  
二回戦目  
いくからね♡

うん・・・それじゃ  
お休みマシユ

はい、お休み  
なさい先輩



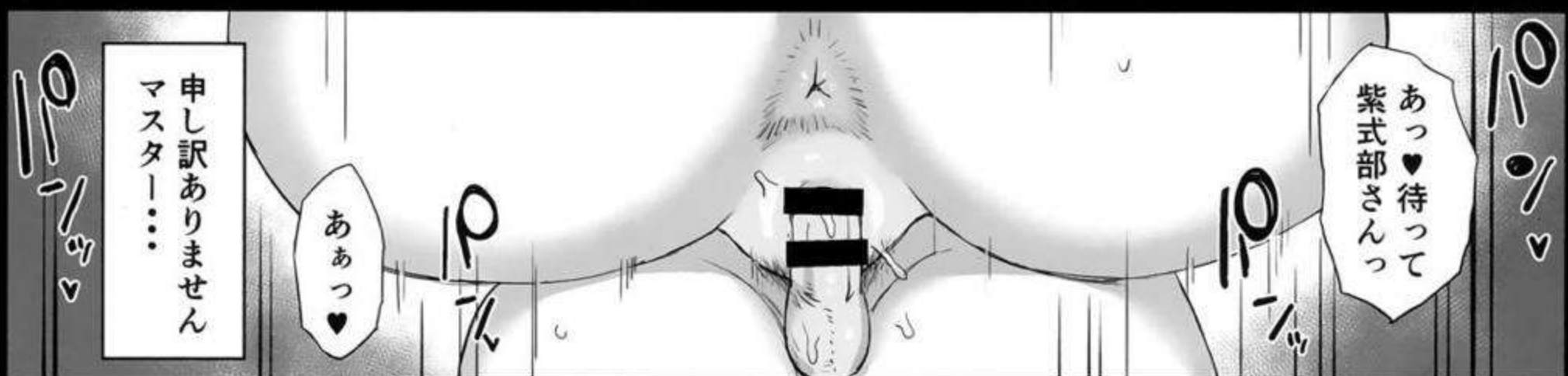
マスター……



向こうの  
カルデアは  
どうだった？



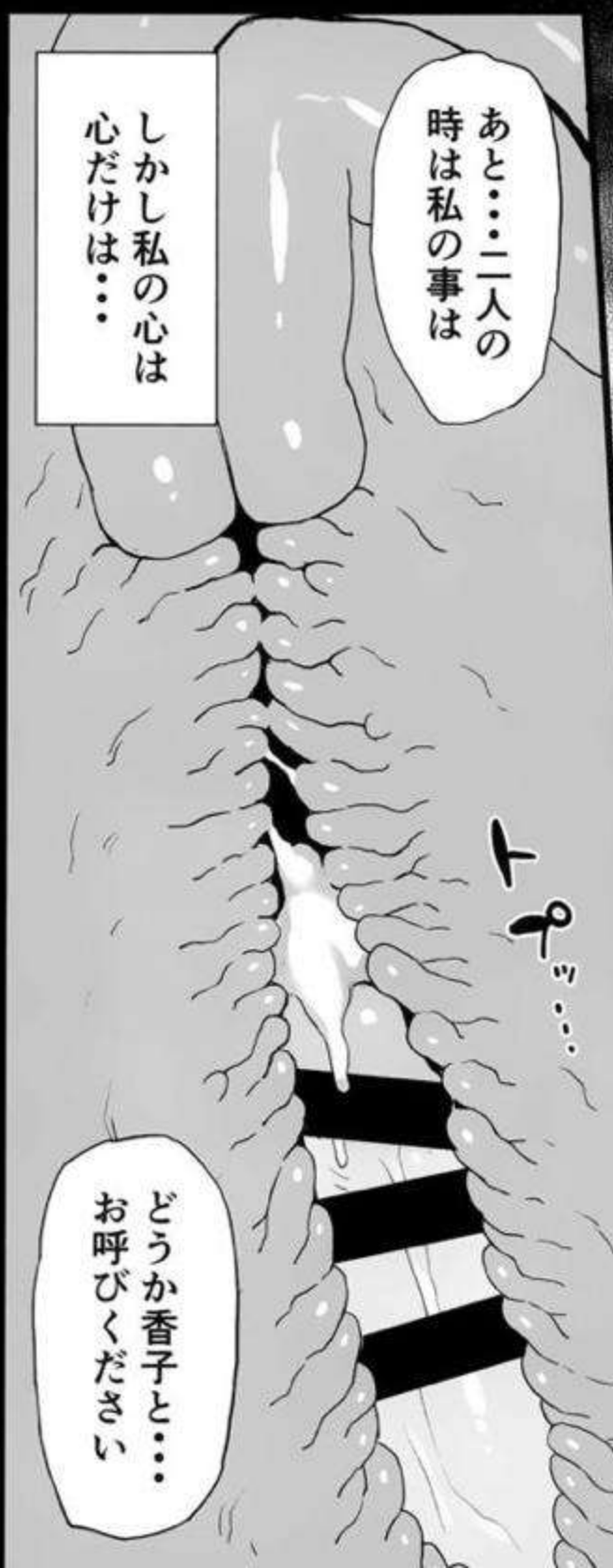
おかえり  
紫式部さん！



あっ♡待って  
紫式部さんっ

ああっ♡

申し訳ありません  
マスター……



しかし私の心は  
心だけは……

あと……二人の  
時は私の事は

どうか香子と……  
お呼びください



私は……汚されて  
しまいました……

ダメだ……ッ  
もう……！

お出しく下さいっ♡

私の中に注いで  
満たしてくださいッ

ううっ

サポート四回目

あー香子ちゃん  
のマン肉きつつ♡

あれから私はこの  
男に毎日犯されている

やっぱ香子ちゃん  
名器だわ♡

おっ♡

みちゅ♡

あっ♡

マスターにはFPを  
稼がせてくれている  
という嘘をついた

すべては  
カルデアの為

出るぞ子宮で  
ザーメン受け止めるっ

んおっ♡

あーこのオナホ吸い  
付き良すぎだろ♡

絶対に♡耐え  
なければ……♡



香子ちゃんもう  
自分から腰振っ  
ちゃってんじゃん♡

俺のちんぽすっかり  
気に入っちゃった?♡

あーもうそういう  
のいいから

な?

いい加減  
素直に認めろや

あっ

なあ香子ちゃん  
俺の事どう思ってるか  
教えて〜?

あなたの…  
事…?

…すべてに  
おいて最低の  
クズ…

ひど(笑)

ですが…

ちんぽだけは♡

最高ですッ♡

ぎやはははッ  
墜ちてんじや  
ねーか(笑)

マスター君今頃  
泣いてんぞ〜♡

勘違いしないで  
くださいッ♡これも  
マスターの為です♡

くくッホント  
同情するわ(笑)

チュッ

チュッ

チュッ

チュッ

おほい♡

令呪の力とはいえ

本心を口にして  
しまったあとは  
恐ろしい程に

心が楽に  
なったのです

マスターに悪いと思う  
気持ちはもちろん  
ありましたが…

あの男から女の  
喜びを与えられたい  
という気持ちも…

お、出た出た♡

どうだった？  
ガチ浮気(笑)

確かに…  
あったのです♡

最高♡

うっ浮気  
せっす





読んでしまった  
のですね…  
マスター…

か…香子さん



まあ…



今思えば  
あのときこそが

私がああ男の  
女になった瞬間  
だったのでしよう



おっぱい

なら…

私たちは

とても相性  
がいい…♥



私だけが  
呼ばれた理由

これは…本当に  
…その…



気に…なり  
ますか…?

えっ?

わかってしまえば  
なんてことは  
ないのですね

ベッドでお話…  
しましょうか♥

# ごむはち

発行日：2019年8月12日

サークル：ごむはち

印刷所：サングループ

※この作品の無断転載・複製・アップロード等を禁止します

※18歳未満の購読・閲覧を禁止します